

目的 胃カメラ

- ・ 食道、胃、十二指腸を内視鏡で観察します。
- ・ 食道がん、胃がんを早期発見すると、手術や内視鏡治療で根治することができます
- ・ 胃潰瘍や逆流性食道炎などの症状の原因を検索することが可能です。
- ・ 内視鏡観察をすることで、保険を用いたピロリ菌診断、除菌が可能です。
(ピロリ菌感染は胃がんや胃潰瘍の原因となり、除菌が勧められています。)

大腸カメラ

- ・ 大腸(肛門から回盲部まで)を内視鏡で観察します。
- ・ 大腸癌を発見することができます。また多くの大腸癌はポリープ(腺腫)から発生するため、ポリープ切除で癌を未然に防ぐことができますといわれています。
- ・ ポリープがあればできるだけ切除します。(大きくて特殊な形の場合は、改めて入院での治療をお勧めし、病院を紹介致します。)
- ・ いろいろな病変の確定診断の為に生検による組織診断が必要です。
- ・ 大腸癌検診(便潜血)の2次検査では全大腸内視鏡検査が推奨されています。

検査に伴う危険性・偶発症

- ・ 組織検査やポリープ切除を行った場合に出血のリスクがあります。
検査後2、3日は飲酒の機会がないように調整をお願い致します。
- ・ その他重篤な合併症は内視鏡学会の報告で0.0005%程度とされています。
- ・ 下剤によるもの：アレルギー、嘔吐、まれに腸閉塞を起こす可能性があります。
- ・ 内視鏡によるもの：挿入時 お腹のはりや疼痛があることがあります。
検査予定日から2、3日は飲酒機会がないようにお願いします。
(概算すると1%未満の確率ですが数日後に再出血する事があります。その他穿孔が0.1%未満、重篤な合併症は内視鏡学会の報告で0.0005%程度とされています。)

点滴の麻酔で、うとうとしながら検査を受けることが可能です。

- ・ 検査後1時間前後 休憩が必要となります。
- ・ 麻酔当日は車、バイク、自転車などの運転を控えてください。
- ・ 付き添いが望ましいですが、無理な場合は連絡のつくかたの連絡先を教えてください、必要時に連絡させて頂く場合があります。
- ・ 麻酔薬による呼吸、循環障害やアレルギーの可能性があるため
リスクが高いと判断した方は麻酔をお断りする場合があります。

費用に関して・・・概算、目安【2割負担の方は下記費用(3割負担)の3分の2、1割負担の方は3分の1になります。】

	内視鏡検査	生検(組織の検査)	ポリープ切除	ピロリ菌検査
3割負担	1万円前後	18000円前後	25000円前後	追加で1000円程度

* 受診や前投薬の費用を含んでおりません。

* ポリープ切除の方は手術費用を保険申請できることがあります

* ピロリ菌検査は各種あるため、内服状況などを判断し最適なものをお勧めします。

* ドック(自費)の方は40000円前後ご用意ください。